

# 2008年度 事業報告書

2008年4月1日～2009年3月31日まで

特定非営利活動法人 こうなん

## 1. 事業の成果

別項の通りです。(1ページから4ページまで)

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
宅老事業 しおさいの家	月1回のお食事会や誕生会。毎日の日替わりランチや押し花、折り紙、健康チェックなどの定期開催に加え、四季折々の行事や野外レクリエーション、いきいき百歳体操などに取り組んだ。	日曜祭日・お盆 年末・年始以外の 平日 午前9時～午後5時 まで	浦戸 837-112
従業員の人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)	
常時一人体制の4人 交替。利用者が7名 10名を越す時は ボランティアが入る	高知市に住む65歳以上 の高齢者や、障害を お持ちの方。 ◎08年度の延べ利用 は、4,120名。	591万1千	

### (2) 収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	支出額 (円)
ミニバザー	寄付による 物品等の販売	08年 12月6日 午前11時～	しおさいの家	8名	0
ひなまつり バザー	寄付による 物品等の販売	09年 3月7日 午前11時～	しおさいの家	10名	0

# 2009年度NPOこうなん定期総会

## 1、事業報告

### 1、宅老所「しおさいの家」のとりくみ

#### ① 行事について

##### ★08年度新しく取り組んだ行事

#### 4月→布ぞうり教室

昨年12月から利用者の自主的な要望で始まっていた「布ぞうりづくり」が大変好評であることと、指導者の今村さん個人に大変負担をかけていることから、しおさいの家の正式行事として開始することとなりました。やり方を覚えるとすぐ止める方もいるようですが、「みんなでやるから楽しい」と、何足もあんでいる人も集まって、分からないところは教え合いながら製作に励んでいます。

#### 9月→浦戸小学校児童との交流実現

予てよりの課題だった「地元児童との交流」がついに実現しました。9月の「敬老お食事会」12月の「年忘れ会とクリスマス会」の2回です。地域との交流は毎年3年生が担当しているようで、15人全員が元気なお顔を見せて下さいました。2回とも歌や演奏、劇、折り紙、手遊び…と、沢山の出し物を披露して下さい、利用者一人一人に「元気でいて下さい」と声をかけ、愛情一杯のハグに大感激！皆さん涙を流して喜びいっぱいになりました。学校としても「開かれた学校づくり」の一環として、地域との交流を重視しているとのこと。来期も新しい3年生にお会い出来そうです。

##### ★従来の行事

- ◎ いきいき百歳体操は週3回がしっかり定着しています。「休むと足の調子が悪い」「せめて週一回だけでも」と、体操は皆さんの大きな励みになっています。月曜日はループ体操を中心に、百歳体操も取り入れながら変化をつけた、取り組みをしています。木曜コースで「失禁予防のコンチネンス体操」もはじめました。
- ◎ かみかみ体操は、百歳体操とあわせて行くと、より一層効果があるという事で、火・木の体操と一緒にしています。「かむ力」「飲み込む力」「唾液が出る」などで、変化が現れているようです。これも「続ける」ことが何よりの効果だと思います。
- ◎ 趣味の関係では、絵手紙、あみもの、押し花、生け花、折り紙、囲碁将棋、コーラス、などほぼ定期的に行われています。残念ながら謡は、先生がケガされたことからそのまま休止になっています。「しおさいだより」に連載で、各教室の紹介をはじめました。教室によっては寂しくなっているところもありますが、絵手紙など、それぞれが楽しくお喋りしながら上手に書き上げ、謙遜しながら評価しあう様子は“心をつなげた信頼する仲間同士”です。「老後を豊に過ごす」ことに貢献でき、「手先を使い、頭を働かせ、創造力を養う」事で、いつまでも元気に楽しく過ごして頂いております。
- ◎ 健康チェックや健診も喜ばれています。毎月の尿チェックで 判定不能から数値を下げ、減塩に成功した方もいます。健康講座「元気でぽっくり」の学習もしました。

◎ お食事会は、参加者の数は多くありませんが、毎月、楽しみにして必ず参加して下さる方もいます。「普段と少しでも違う豪華メニュー」を心がけ、出来る限り“食事だけ”に終わらないような工夫もしてきました。食事作りでは、敬老会で「手作り弁当」を、年忘れ会では、一人用の小皿鉢を作って喜ばれました

また、敬老会では浦戸小学校との交流があり最高でした。今年は卒寿のお祝いはありませんでしたが、88歳と80歳の方にも小さなお花をプレゼントし、参加者全員に恒例の敬老饅頭も差し上げました。今年の新年会は、初めて「桂浜荘」で行い、カラオケや踊りを楽しみました。

◎ お誕生会は、少しでも“お祝いらしく”を心がけ、毎回工夫しています。お祝いに見える固定客もふえています。皆さんからは、「めずらしい物が食べられる」など、楽しみにして下さっていますので、何よりだと思っています。

◎ 昨年は7周年記念の“しおさい祭り”でした。春野の「ホテルSP」で開催し、“謡の初披露”や24人によるベルの演奏、カラオケ、スタッフによる「銭太鼓」など、32人が舞台上がって得意芸を発表。自前ながらも大変楽しくにぎやかなものになりました。

#### ★四季折々の行事

◎ これまでどおり ★月遅れの七夕まつりと夕涼み会（8月） ★お月見の会（9月） ★収穫祭（11月） ★クリスマス会（12月） ★秋のミニバザー（12月）とひなまつりバザー（3月）を行いました。◎とくに七夕まつりでは、笹に一言メッセージをつけてお渡ししたところ、大変喜ばれ「一人一人違うことを書いてくれちゅう」「その通り、生きる希望がわいてきた」「上手な字で書いてくれて嬉しい」など、喜びの声をたくさん頂きました。

#### ★野外レクリエーション活動

◎★4月→つつじ観賞（春野） ★5月→五台山の花博へ 6月→あじさい鑑賞（春野）  
新名所、6条神社発見 ★7月→蓮の観賞（土佐市） ★11月→菊花展（春野）  
★2月→観梅（高知城公園） ★3月→お花見（五台山の護国神社）★JAはるの“お買い物ツアー”は毎月実施し、季節の移り変わりを楽しみました。

#### ② 運営について

- ★毎月の運営委員会で、前月のまとめと翌月の計画を検討。民主的運営を心がけました。
- ★広報“しおさいだより”を毎月発行。これまで通り、利用者・NPO会員・浦戸地域（回覧用）・ふれあいセンターなどに配布してきました。
- ★ポイント券の発行（30回利用でお食事券1枚）は、この1年間で81枚を発行し、皆さんに喜んでご利用頂いています。

### ③ 利用状況

#### ★月別利用状況

月	開所日数	実人員	延べ利用者	延べ食事
4月	25日	60人	374人	345人
5月	24日	59人	338人	304人
6月	25日	59人	357人	319人
7月	26日	59人	371人	339人
8月	23日	63人	333人	307人
9月	24日	62人	361人	334人
10月	26日	60人	364人	337人
11月	23日	52人	342人	312人
12月	23日	59人	308人	286人
1月	23日	55人	291人	266人
2月	23日	52人	323人	297人
3月	25日	59人	358人	331人
合計	290日	699人	4120人	3777人
1日平均	24日	58.3人(月)	14.2人	13.0人

#### ★種目別利用状況(重複あり)

	体操	各種教室	誕生会	健康関係	野外レク	四季	食事	その他
回数	163回	150回	12回	11回	22回	7回	10回	118回
参加数	2229人	740人	234人	102人	315人	205人	280人	488人
1回平均	14人	5人	20人	9人	14人	29人	28人	4人

(小数点以下、四捨五入)

### ④ 他団体・地域との交流など

★百歳体操全県交流大会は、10月29日(水)県民体育館で開かれ、9名が参加しました。地域で行う百歳体操は、年々増えているようです。

★女子大生の研修が12月と1月にあり、2グループ9名が見えて、食事作りや体操、絵手紙、などの体験、利用者との交流をして頂きました。

「皆さん元気なのにびっくり」などの感想をいただいています。

★浦戸地域との交流として、◎夏休みの作品づくり教室、◎浦戸小学校への雑巾贈呈。

◎浦戸地域の防災対策として開かれた「近隣施設連携体制検討会」に2回参加。

◎地元民生委員さんとの懇談会は3月に開きました。

◎昨年9月、介護施設「しあわせ村」から声をかけて頂き、地元の方を中心に“ベルの演奏”に出かけました。また、1月のお誕生会には、以前こちらを利用されていた方に出席して頂きました。一緒にしあわせ村の友達お一人も参加。交流できました。

## 2、NPO関係の活動

08年 4月→高知市よりH20年度宅老事業の委託を受ける

08年 5月→高知市へ委託事業の報告と会計報告書提出  
理事会開催（総会の打ち合わせで1回開催）

6月→第8回定期総会開催（1日）

6月→高知県へNPOこうなんの活動報告書提出

## 3. 活動のまとめと課題

- ① 今年目標も昨年と同じく、「頭と手と体を使って今年も元気」「笑いの絶えない元気なしおさいの家」「魅力ある宅老所」にすることでした。  
8年目ともなると仲間意識も強まります。=誰かが休むと心配し、顔を見ると安心していたわり合う=こんな気持ちは皆さんに共通しています。最近奥様を亡くされた方は「来るところがあって良かった」と、家に閉じこもることなく元気に来て下さっています。笑顔の絶えない楽しい「居場所」としての役割ははたしていると思います。とはいえ、前年度に行ったアンケートでも少数とはいえ、「いやなことがあった」と答えた方がいました。長いおつき合いの中で「わがまま」「グループ化」が心配されました。最近、大分良くなったように思いますが、「和」を大切にし、“いたわり合い”“人を大切に”する心を忘れないよう見守る必要があります。
- ② 浦戸小学校3年生との交流実現は、これからの「しおさいの家」にとっても宝物。“いきいきとした元気”を買って癒しになります。今後とも大切にします。
- ③ 今年もわずかながらも利用者が減少しています。定着している反面、年を重ねると入院されたり、亡くされたり、デイに行くようになった、県外の子どもの家に行くことになったなど、悪い条件がふえています。また、長期に休まれた後の一歩が、なかなか出ない様子。その一歩が出せるように、アドバイスすることが大切です。
- ④ 常に新しい方を迎え、継続して頂けるように心がける事も課題の一つです。
- ⑤ 防災についての学習と訓練は過去に2回ほど行ったまま最近はできていません。救急時の対処の仕方についても、スタッフで学習する必要があります。
- ⑥ 毎月の運営委員会と“しおさいだより”の発行は、民主的な運営と利用者・会員との結びつきを強める上でも、大きな役割を果たしています。来期に100号を迎えます。マンネリにならないよう、新しい内容も取り入れながら、さらにいい物にして、発行を続けていくことが大切です。